

大腸がん肝転移切除例における患者背景の経時的変化、および治療成績、予後因子の検討

研究対象：

2005年1月1日から2014年12月31日までに国立がん研究センター東病院肝胆膵外科において大腸がん肝転移と診断されて手術を行った方々の診療録を対象とし、治療成績、再発リスクなどを解析するために情報収集を試みます。

研究の概要：

大腸がんは近年増加のみられるがんです。そのため肝転移再発も増加がみられていますが、現在までに外科的切除成績を越えるその他の治療はありません。しかし未だ治療成績としては満足できるものではありません。そこで本研究の目的は国立がん研究センター東病院、肝胆膵外科において転移性肝がんと診断され外科的切除を行った方々を検討対象とし、手術後の治療成績、予後因子などを検討します。またこの検討期間中での患者背景因子の変化についても検討します。このような国立がん研究センター東病院、肝胆膵外科において外科的切除を行った治療成績を詳細に検討し、特に予後因子を検討することで今後の治療戦略の構築に役立てようと考えています。

研究の意義：

大腸がん肝転移に対するこれまでの治療成績の検討することで今後の外科的治療方針、切除適応について新たな知見が判明すれば本研究の意義は大きいと考えます。

目的：

本研究はこれまで行ってきた大腸がん肝転移の外科的治療成績として腫瘍因子などを検討することを目的としています。将来的にはこの研究データの結果が多くのお医者さんに広く認められれば治療方針の構築に役立つ可能性があり今後の治療成績向上、発展につながるものと考えております。

方法：

国立がん研究センター東病院で2005年1月1日から2014年12月31日までに肝胆膵外科において大腸がん肝転移の診断にて手術を受けられた患者さんの診療録より、手術治療内容などの条件で合致した方の必要な情報（採血データや手術術式、病理検査データなど）を収集します。情報収集の作業に当たるのは治療を担当した当該診療科の医師です。この作業で収集した情報を通じて治療成績を検証します。

個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報

を収集します。対象となる患者さんの鑑別は本研究専用 to 別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報 that 院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

照会先および研究での利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 後藤田直人（研究責任者）

FAX 04-7131-4724 / TEL 04-7133-1111 （内線 2332）